

令和5年度 わかりやすい 瑞穂市の市政方針

市制20周年を
迎えました

これからも市民の皆さんとともに
成長していきます！



瑞穂市マスコットキャラクター
「かきりん」



～まちの将来像～
誰もが未来を描けるまち 瑞穂

令和5年度瑞穂市の市政方針にあたって

令和5年度予算においては、瑞穂市の将来像“誰もが未来を描けるまち 瑞穂”を達成するため、第2次総合計画 後期計画の3年目として、着実に計画を実行していきます。

そこで、瑞穂市の市政方針として3つの方針を掲げ、取り組んでまいります。



◆3つの方針◆

①地方創生3つの拠点の飛躍

サンコーパレットパークについては、地方創生の視点を取り入れ、子どもたちを中心とした賑わいの創出、季節に応じた特産品の販路拡大など、集客、関係人口、交流人口を増やす拠点として定着しました。さらに、美江寺宿、小簾紅園を結ぶ“中山道まちづくり基本構想”を推進していきます。

次に、犀川遊水地整備事業は、犀川遊水地グリーンインフラ基本構想に基づき、公共下水道事業を含め犀川・五六川周辺かわまちづくり計画を策定するために社会実験を行います。

最後に、JR穂積駅周辺整備事業は、(主)北方多度線の別府交差点の改良事業、JAぎふ穂積支店跡地である「エキサイトサードプレイス」でのハード・ソフト事業の双方を連携させていきます。

②市制施行20年を起点に繋ぐ

今までの歩みを振り返るとともに、「人権」「平和」「環境」の3つをテーマに、瑞穂市が引き続き発展し続けるよう、先人から受け継がれてきた美しい自然や、伝統・文化を大切に継承しながら、瑞穂市の次代を担う人たちへ繋いでいきたいと考えております。

また、市制施行20周年特別企画のイベントも毎月開催しておりますので、コロナ禍で薄れた絆づくりにも活用していただき、多くの市民の皆様に参加いただければ幸いです。

③“健幸都市みずほ”の施策の推進

私のマニフェストである“健幸都市みずほ”の施策を推進します。市民の皆様が健康で生きがいを持ち、幸せに暮らせることを実現するため、安全・子育て・産業・地域運営など広い分野で施策を進めていき、幸せをより多くの機会に感じられるよう、行政の役割としてのまちづくりを進めていきます。

また、現下喫緊の課題である「少子高齢化」については、特に昨年の出生数が予想より8年ほど早く80万人を下回ったことにより、国は2030年までが少子化傾向を反転できるかのラストチャンスとして「異次元の少子化対策」が検討されています。私は、人口減少については、それぞれの自治体の状況に応じた対策が必要であると考えております。当市においては人口が増えている現段階から、近い将来の人口減少を見越して対策を行えるというメリットを生かし、まちづくりを総合的に進めてまいります。

瑞穂市長 森 和之

※令和5年度は、市長の改選期のため、当初予算を「骨格予算」とし、6月補正予算で政策的経費を含めた「肉付予算」の編成を行いました。

瑞穂市民憲章

わたしたちは 揖斐 長良の清流とともに生き
長い歴史と文化に誇りを持ち 自由で住みよいまちづくりに
力を合わせていくことを ここに誓います

- 1 豊かな水と緑あふれる 美しいまちをつくりま
- 1 健康で心がかよう 明るいまちをつくりま
- 1 文化が香りスポーツに親しむ さわやかなまちをつくりま
- 1 助けあい支えあう 優しいまちをつくりま
- 1 夢をはぐくみ希望に満ちた 幸せなまちをつくりま



市の花「あじさい」



市の木「桜」



瑞穂市のSDGsの取組

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までの国際目標です。瑞穂市では令和3年3月策定の「瑞穂市総合計画」において各施策分野と17のゴールとの関連性を示し、積極的に推進していきます。

目次

◆ 予算概要

・ 瑞穂市の予算規模	4	・ 市税の種類と予算額	7
・ 一般会計歳入（当初予算）	5	・ ふるさと納税	7
・ 一般会計歳出（当初予算）	6		

◆ 瑞穂市第2次総合計画 5つの基本目標と共通目標

基本目標1：～安全で安心して暮らせるまち～

・ 牛牧排水機場改修事業	8	新 防災士養成講座	9
・ 古橋地内遊水池第2期整備事業	8	・ 非常備消防整備事業	9

基本目標2：～便利で快適に暮らせる美しいまち～

新 宮田市道9-2号線道路改良工事	10	・ (仮称)犀川・五六川周辺かわまちづくり 計画策定事業	12
・ 道路維持補修事業	10	・ 橋りょう長寿命化修繕事業	12
・ 瑞穂処理区下水道施設整備事業	11	拡 地球温暖化対策	13
・ 上水道施設整備事業	11		

基本目標3：～心が通う助け合いのまち～

拡 子育て世代包括支援センター事業	13	・ 国民健康保険事業	16
拡 出産・子育て応援交付金事業	14	・ 後期高齢者医療事業	16
新 障害者短期宿泊事業	14	拡 高齢者タクシー利用助成事業	17
拡 予防接種に関する各種助成事業	15	・ 平和推進事業	17
・ 糖尿病対策・慢性腎臓病対策事業	15		

基本目標4：～夢あふれ希望に満ちたまち～

・ 中山道まちづくり基本構想推進事業	18	・ 生涯学習施設等改修事業	19
拡 英語教育推進事業 グローバル化対応教育の推進	18	拡 木育推進事業	20
・ 公私連携型保育所整備事業	19	新 保育士等支援アドバイザー事業	20
・ 中小学校大規模改修事業	19		

基本目標5：～活気あふれる元気なまち～

拡 JR穂積駅圏域拠点化構想事業	21
(基本目標2にも共通する事業です)	

共通目標：～持続可能な都市経営のまち～

拡 市制20周年記念事業	22	・ まちづくり基本条例推進事業	23
・ 新庁舎建設事業	22	(基本目標3にも共通する事業です)	

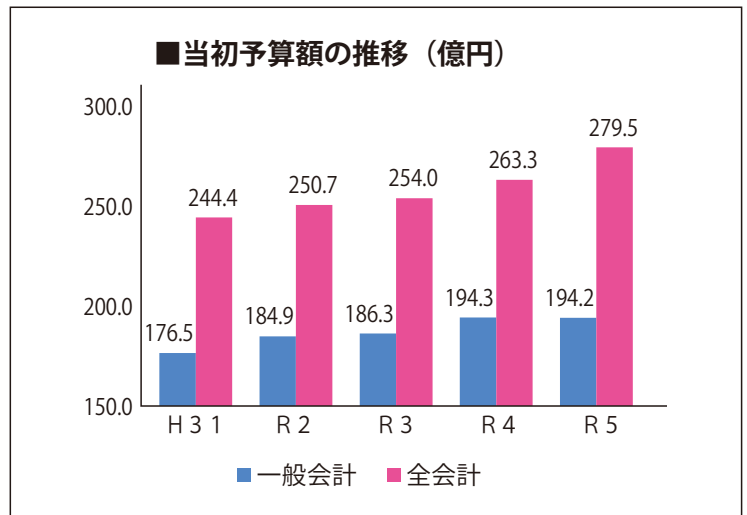
新：新規事業 **拡**：規模を大きくする事業、もしくは事業内に新規の施策等が含まれるもの

瑞穂市の予算規模

瑞穂市の予算は使い道などから一般会計・特別会計・企業会計の3つの会計に分かれています。

今年度の当初予算総額：279億5,042万円（前年比16億2,334万円増）

当初予算は「骨格予算」として政策的な経費は極力抑え、義務的経費や維持管理費、前年度からの継続事業などの最低限の計上とし、6月補正予算に「肉付予算」として政策的経費や新規事業等を計上しました。



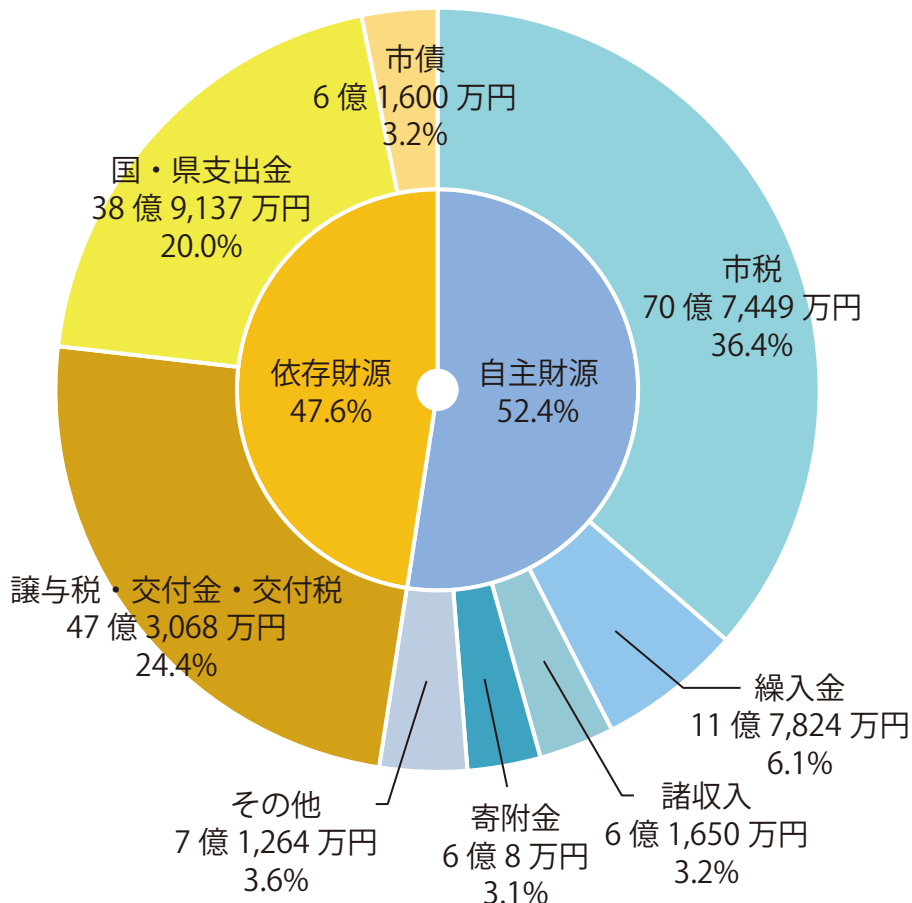
◆各会計の予算規模

区 分		予 算 額	前 年 比 (増 減 額)	事 業 内 容	
一般会計	当初	194億2,000万円	△1,000万円	福祉、子育て、教育、道路や公園の整備などの市民の暮らしやまちづくりに必要な基本的な行政サービス	
	4月補正	6,550万円	—		
	6月補正	4億9,204万円	—		
特別会計	国民健康保険事業	当初	46億2,816万円	△4,273万円	国民健康保険に加入しているかたの医療費を給付
	後期高齢者医療事業	当初	6億8,431万円	2,421万円	75歳以上のかたの医療費を給付
	農業集落排水事業	当初	2,718万円	178万円	呂久地区における污水处理施設の管理
企業会計	水道事業	当初	10億1,716万円	6,646万円	水道水の供給 水源地・水道管の整備・維持管理
	下水道事業	当初	21億7,361万円	15億8,363万円	雨水・汚水管の整備・維持管理 下水処理場の施設整備
		6月補正	2,168万円	—	

一般会計 歳入（当初予算）

一般会計の歳入には、市税や国・県からの補助金、金融機関などからの借入れや施設の使用料などがあります。約 52%が自主財源です。自主財源が多いほど、財政が安定し、自主的な事業をより多く行うことができます。自主財源の大部分は市税です。

今年度は、市税や地方交付税が増加となる見込みですが、国・県支出金や繰入金、市債は減少となる見込みです。



依存財源
譲与税・交付金・交付税 皆様が国に納めた税金の一部で、一定の基準により市に交付されます。
国・県支出金 皆様が国・県に納めた税金の一部です。市の行う事業の全部又は一部に交付されます。
市債 市が行う事業で、特に大きな事業を実施する場合の必要な財源を調達するために借り入れる借金です。

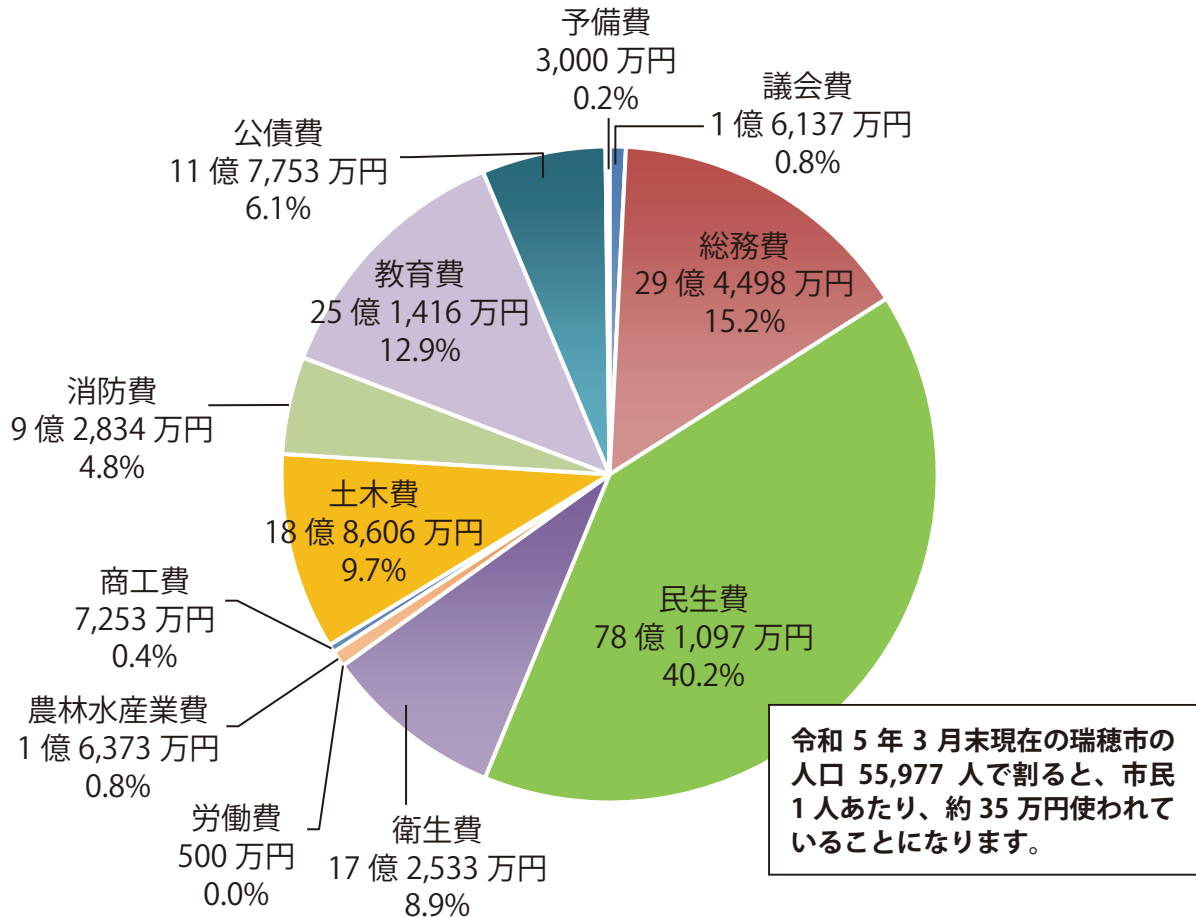
自主財源
市税 市民の皆様や市内に事務所を持つ法人に納めていただくものです。
繰入金 一般会計、特別会計及び基金の間において現金を移動することです。
諸収入 もとす広域連合派遣職員負担金や給食費負担金などの収入です。
寄附金 ふるさと納税によるふるさと応援寄附金や一般の寄附金です。
その他 不動産売払などの財産収入、使用料及び手数料、分担金及び負担金、前年度からの繰越金などです。

※ 8ページ以降の各事業の財源について、上記の繰入金、諸収入、寄附金、その他の合計を「その他」として表記しています。企業会計、特別会計については一般会計からの繰入金を「市」と表記しています。

一般会計 歳出（当初予算）

総務、民生、教育などの行政目的の分野ごとに支出します。

歳出では、扶助費を中心とした社会保障経費の伸びによる障害者福祉費、老人福祉費、保育所費などの増額により民生費が大きく増加しており、全体の約 4 割を占めております。一方、事業終了等により消防費、教育費は前年より減少しております。



◆ 一般会計歳出予算（目的別）

議会費 議会運営のための経費
総務費 庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理、選挙、統計等の経費です。
民生費 障がい者や高齢者の福祉サービス、子育て支援、保育所、生活保護等の経費です。
衛生費 健康増進、疾病予防、環境保全、清掃費等の経費です。
労働費 勤労者などの支援費等の経費です。
農林水産業費 農林業の振興を図るための支援や生産基盤整備等の経費です。

商工費 商工業や観光の振興等の経費です。
土木費 道路、河川、公園など社会資本基盤整備等の経費です。
消防費 消防や火災予防、水防など災害対策のための経費です。
教育費 学校教育、生涯学習の充実、文化・スポーツの振興等の経費です。
公債費 市債の元利償還金及び一時借入金利子を支払うための経費です。
予備費 予算編成の際、予期しなかった予算外の支出に対応するための科目です。

市税の種類と予算額

項目	内容	予算額	前年度比(増減額)
市民税(個人)	市民のかたが個人の前年中の所得等に応じて納める税金です。	30億3,987万円	8,692万円
市民税(法人)	市内の法人が所得等に応じて納める税金です。	2億9,907万円	1,591万円
固定資産税	市内に土地、家屋、償却資産を持っているかたが納める税金です。	32億6,650万円	7,250万円
軽自動車税	市内に原動機付自転車、軽自動車等を持っているかたが納める税金です。購入時に納める「環境性能割」も含まれます。	1億6,111万円	1,322万円
市たばこ税	たばこの消費者が負担し、販売業者などが市に納める税金です。	3億794万円	△655万円
合計		70億7,449万円	1億8,200万円

ふるさと納税

～全国の皆さんから応援していただいております～

全国の皆さんから寄附いただいたふるさと応援寄附金は、ふるさと応援基金としていったん積み立てをしています。令和5年度は、そのうち5億3,124万円を取り崩し、下記の事業の財源に活用する予定です。

- ・公共交通事業(バス負担金)
- ・市制20周年記念事業
- ・男女共同参画推進事業
- ・平和推進事業(絵画制作・記念コンサート)
- ・地域振興組織補助
- ・ファミリーサポート委託
- ・子育て応援サイト使用料
- ・公私連携型保育所整備
- ・子育て世代包括支援センター事業
- ・高齢者タクシー助成
- ・若年の健康づくり事業
- ・農業振興会補助
- ・すなみ柿ブランド化推進
- ・ふれあいフェスタ委託
- ・道路側溝等修繕
- ・河川維持修繕
- ・公園維持補修(せせらぎ公園階段設置等)
- ・(仮称)犀川・五六川周辺かわまちづくり計画策定業務
- ・JR穂積駅圏域拠点化構想事業
- ・岐阜市消防事務委託料(消防指令システム)
- ・消火栓新設改良
- ・中山道まちづくり基本構想
- ・アクアパーク別府水処理センター包括的民間委託導入検討業務委託
- ・本田・重里市道道路改良測量設計委託
- ・南ふれあい広場南東面フェンス設置工事
- ・医療的ケア児対応保育士派遣業務委託
- ・かきりんぬいぐるみ・キーホルダー製作
- ・市の魅力発信事業
- ・スポーツ企業との協働事業
- ・巢南庁舎外壁部分改修工事
- ・带状疱疹ワクチン予防接種助成
- ・穂積駅北歩道整備事業
- ・総合センターホール女子トイレ洋式化工事



令和4年度ほづみ幼稚園にも活用しました。

◆ 第2次総合計画5つの基本目標と共通目標に基づく主な事業

基本目標1：～安全で安心して暮らせるまち～

事業 **牛牧排水機場改修事業**

担当 都市整備部
都市開発課

予算 R5 6,100万円

財源 市債 6,100万円



牛牧排水機場の改修を進めています

老朽化による機能低下等に伴う豪雨時の浸水被害を解消するため、国の犀川遊水地事業にあわせて改修を行っています。

◆ 令和5年度 実施内容

- ・牛牧排水機場改修（国への委託工事）
ポンプ設置工事
- ・起証田川付け替え（国工事）



事業 **古橋地内遊水池第2期整備事業**

担当 都市整備部
都市開発課

予算 R5 1億8,247万円
R4 1億9,576万円

財源 市債 1億7,770万円
市 477万円

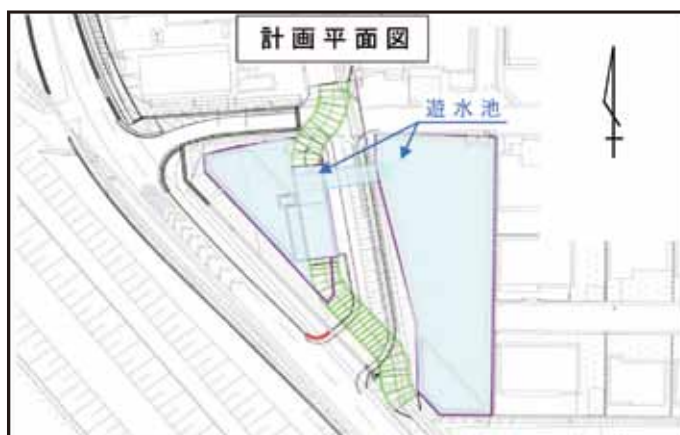


遊水池の整備を進めます

近年の激甚化する自然災害等から市街地の安全を確保するため、古橋地内に遊水池の整備を行います。

◆ 令和5年度 実施内容

- ・遊水池整備工事（第2期）
【実施期間：令和4年度～令和6年度】



事業 **防災士養成講座**

担当 企画部
市民協働安全課

予算 R5 344 万円

財源 市 344 万円



防災・減災に長けた人材を多く育成し、地域の防災力向上を図ります

防災士の育成により、地域の防災教育や防災啓発活動など資格を活かした防災活動を行います。また、自治会・校区組織との防災面での連携、避難所運営協議会などの組織作りとその運営・体制に深く関わる活動を通じて地域の防災力向上を図ります。

◆令和5年度 実施内容

防災士養成講座の開催

【日時】 令和5年8月19日（土）、20（日）

【場所】 巢南公民館 多目的ホール



防災士とは：“自助” “共助” “協働” を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を習得したことを、日本防災士機構から認定された人のことです。

事業 **非常備消防整備事業**

担当 企画部
市民協働安全課

予算 R5 9,619 万円
R4 1 億 2,795 万円

財源 市債 1,170 万円
市 6,943 万円
その他 1,506 万円



地域の消防力の強化を図ります

小学校区ごとに消防団（分団）を配置し、分団ごとに活動の拠点となる詰所を設置しています。

また、消防団の活動に必要な消防ポンプ車等の資機材や消火活動に必要な水源（消防水利）の整備及び維持管理を行います。

◆令和5年度 実施内容

・軽積載車の更新（3台）



新

事業 宮田市道 9-2 号線道路改良工事

担当 都市整備部
都市開発課

予算 R5 4,907 万円

財源 国 2,453 万円
市債 2,200 万円
市 254 万円



歩道の整備を進めます

サンコーパレットパークの整備が完了したことに伴い、将来交通量の増加が見込まれるため、社会資本整備総合交付金を活用し歩道設置工事を実施します。

◆令和5年度 実施内容

- ・車道及び歩道（西側）工事 延長 140m

※社会資本整備交付金を活用し、引き続き未整備箇所（北進）工事を予定しております。



事業 道路維持補修事業

担当 都市整備部
都市管理課

予算 R5 1億7,828万円
R4 1億9,216万円

財源 市 7,828万円
その他 1億円



安全な道路環境の充実を図ります

安全な道路環境の確保のため、舗装や側溝等の修繕工事を実施します。

また、歩行者や自転車等への安全性の向上のため、小中学校の指定通学路や宅地開発が進んでいる地域の区画線の更新、水路転落防止柵の設置を行います。

◆令和5年度 実施内容

- ・舗装・側溝補修
- ・区画線の更新
- ・水路転落防止柵設置



整備前（別府市内）



整備後



整備前（田之上地内）



整備後

事業 瑞穂処理区下水道施設整備事業

担当 環境水道部
下水道課

予算 R5 18億 5,137万円
R4 2億 7,500万円

財源 国 8億 60万円
企業債 9億 2,270万円
市 1億 2,807万円



豊かな水環境を未来に届けます

公共用水域の水環境の改善や都市基盤の構築のために、下水道整備を進めています。

令和2年度から瑞穂処理区下水道施設整備事業に着手し、令和8年度末の一部供用開始を目指し事業を推進しています。今年度から牛牧地区の管路施設工事を行います。

令和5年度からは、下水道による雨水対策事業にも着手し、近年増加している大雨に対して、内水により浸水する区域の危険度を市民の方々にお知らせするために内水浸水※想定区域図の作成に着手します。



アクアパークみずほ暫定整備イメージ図

◆令和5年度 実施内容

- ・ 幹線管路施設工事及び面整備管路施設工事
- ・ 管路施設、処理施設の詳細設計
- ・ 内水浸水想定区域図作成のための測量・調査

※内水浸水とは・・・

大雨が降ると、水路などの排水が追い付かないため、地上に溜まったままになって起こる浸水や河川の水位が上がり降った雨が河川に排水できず、道路に水が溜まったりする浸水。

事業 上水道施設整備事業

担当 環境水道部
上水道課

予算 R5 3億 7,611万円
R4 3億 6,354万円

財源 市 1,620万円
その他 3億 5,991万円



安全で安定した水をいつまでも

「安全」、「持続」、「強靱」の観点から施策を実施し、市民のライフラインとして持続可能な事業運営を推進します。

◆令和5年度 実施内容

- ・ 水源内設備更新工事
- ・ 重要給水施設管路耐震化工事
- ・ 基幹・幹線管路網更新工事
- ・ 配水管改良工事（老朽管の更新）
- ・ 配水管拡張工事

老朽管の更新（穂積地内）



整備前（昭和47年架設）



ステンレス管に更新

事業 (仮称) 犀川・五六川周辺
かわまちづくり計画策定事業

担当 都市整備部
都市開発課

予算 R5 1,200 万円
R4 825 万円

財源 その他 1,200 万円

6 清潔な水とトイレを世界中に
11 持続可能な都市とコミュニティ
14 海の豊かさを守ろう

自然豊かな水辺空間を活かし賑わいを創出します

自然環境が有する多様な機能を活用することにより、水辺とまちが融合した賑わいを創出するため、犀川遊水地グリーンインフラ基本構想に基づくかわまちづくり計画の策定を進めています。

◆令和 5 年度 実施内容

- ・ 社会実験の実施
- ・ 検討委員会の設立



事業 橋りょう長寿命化修繕事業

担当 都市整備部
都市管理課

予算 R5 3,481 万円
R4 3,832 万円

財源 国 1,831 万円
市債 860 万円
市 790 万円

9 産業と雇用イノベーション
11 サステイナブルな都市とコミュニティ

老朽化した橋りょう・道路などの点検や維持管理を進めます

橋りょう長寿命化計画に基づき修繕工事を実施するとともに、市内にある 2m以上の橋りょうについて点検を実施します。

◆令和 5 年度 実施内容

- ・ 修繕工事 (1 橋)
- ・ 点検 (599 橋のうち 131 橋)



修繕工事 (柳一色橋)

事業 **地球温暖化対策**

担当 環境水道部 環境課
総務部 財務情報課

予算 R5 1,500 万円
R4 1,140 万円

財源 県債 1,140 万円
市債 260 万円
市 45 万円
その他 55 万円



再生可能エネルギーの利用を促進し、温室効果ガスの排出削減を図ります

自ら所有し居住する住宅等に太陽光発電設備等を設置する者に、設置費の一部を補助します。

◆補助金額

太陽光発電設備 7万円/kw(上限5kw)
蓄電池 15.5万円/kwh以下(上限5kwh)
の1/3



公用車に電気自動車を導入します

二酸化炭素排出量削減のため、公用車に1台電気自動車を導入し、併せて充電用設備を整備します。

基本目標3：～心が通う助け合いのまち～

事業 **子育て世代包括支援センター事業**

担当 健康福祉部
子ども支援課

予算 R5 1,137 万円
R4 1,213 万円

財源 国県市 662 万円
237 万円
38 万円
その他 200 万円



産婦さんを対象とした産後ママくらぶを実施します

産後の心と体のケアを目的とする産婦さん対象の教室で、講師の指導の下、運動とリラクゼーションでリフレッシュしてもらいます。また、運動後はママ同士の交流会もあり、育児の情報交換や子育ての楽しみや悩み等を分かち合えます。

子育て期の支援と健康づくり意識の普及及び親子の関わりを深めることをねらいとします。

◆令和5年度 実施内容

- ・バランスボール教室(年6回)
- ・ヨガ教室(年6回)



◆その他の事業

- ・妊娠中～子育て期の不安や悩み相談対応、支援に関する関係機関との連絡調整
- ・母子健康手帳の交付 ・出生時面接
- ・パパママくらぶ ・親子ふれあい教室
- ・乳児家庭全戸訪問(赤ちゃん訪問)

拡

事業

出産・子育て応援交付金事業

担当

健康福祉部
子ども支援課

予算

R5 6,797 万円
R4 8,477 万円

財源

国 4,574 万円
県市 1,111 万円
市 1,112 万円



妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近な相談に応じ 様々なニーズに即した必要な支援につなぎます

2つの支援事業

◆ 伴走型相談支援

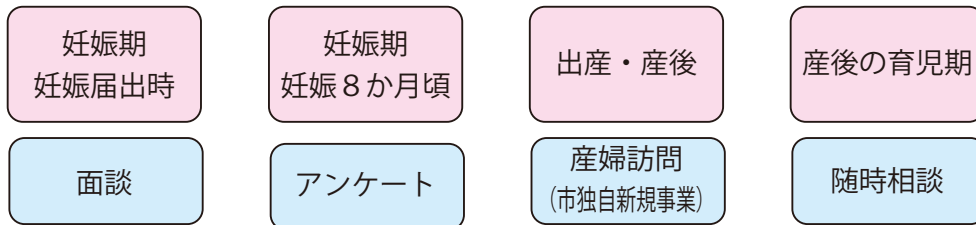
妊娠届、妊娠後期、出産後の各時期に、面談やアンケートを行います。出産育児の見通しや過ごし方、必要な手続きや利用できる支援サービス等を妊産婦と一緒に確認し、必要な支援を継続的に行います。

安心して子育てができるよう、出産後早期に産婦訪問（面談）を実施し、子育ての不安に寄り添います。その後、出生後 4 か月までの間に赤ちゃん訪問を実施し、引き続き安心して子育てができるよう助言や情報提供に努めます。

◆ 経済的支援

面談実施後に、出産育児関連用品等の購入助成として「出産・子育て応援ギフト（計 10 万円相当）」を支給します。

伴走型相談支援と経済的支援のイメージ



各期における面談等による「伴走型相談支援」

- * ニーズに応じた支援（両親学級、産後ケア など）
- * 妊娠届出時（5 万円相当）・出生届出時（5 万円相当）の経済的支援

新

事業

障害者短期宿泊事業

担当

健康福祉部
福祉生活課

予算

R5 55 万円

財源

市 42 万円
その他 13 万円



障害者短期宿泊事業を開始します

保護者の突発的な事情（急病等）や虐待等が発生した場合に、障がい者（18 歳以上）の方の一時的な生活の場を確保する事業です。



事業 予防接種に関する各種助成事業

担当 健康福祉部 健康推進課
 予算 R5 1,590 万円 R4 1,100 万円
 財源 市 1,590 万円

◆【新規】帯状疱疹ワクチン接種費用助成事業

帯状疱疹の発症予防、帯状疱疹後神経痛などの合併症や後遺症の予防を図ります。

対象者	50歳以上のかた	接種場所	市内の指定医療機関
助成額及び 助成回数	生ワクチンの場合 不活化ワクチンの場合	(1回接種) (2回接種)	4,000円 1回あたり10,000円



◆小児インフルエンザ予防接種費用助成事業

季節性インフルエンザの流行の抑制、ウイルス罹患による重症化の予防を図ります。

対象者	生後6か月から中学校3年生までのかた		
接種場所	市内の指定医療機関	助成額	1回あたり1,000円



◆成人風しん予防接種費用助成事業

風しんの流行の抑制、妊婦のウイルス罹患による胎児の先天性風しん症候群の発症予防を図ります。

対象者	風しんの抗体を十分に保有していないかたで次のいずれかに該当するかた (1) 妊娠を予定または希望している女性 (2) 風しんの抗体を十分に保有していない妊婦の夫または同居者		
接種場所	市内の指定医療機関	助成額	接種費用全額



事業 糖尿病対策・慢性腎臓病対策事業

担当 健康福祉部 健康推進課
 予算 R5 30 万円 R4 30 万円
 財源 市 12 万円 その他 18 万円

糖尿病予防や、腎機能低下を早期発見し、慢性腎臓病を予防するための対策を推進します

糖尿病や慢性腎臓病（CKD）に関する理解、バランスのよい食事の知識を普及するとともに、身体活動・運動の推進等を行います。

糖尿病や慢性腎臓病（CKD）の重症化予防に取り組みます。

◆令和5年度 実施内容

- ・血糖コントロール教室（糖尿病予防教室）の開催
- ・そらまめ腎ぞう教室（慢性腎臓病予防教室）の開催
- ・1日350gの野菜摂取の推進
- ・減塩の推進（男女ともに1日6g未満）
- ・健診受診者で糖尿病や慢性腎臓病の予防対象者への医療機関受診勧奨



事業

国民健康保険事業



担当

市民部
医療保険課
税務課

予算

R5 46億2,816万円
R4 46億7,089万円

財源

県 31億7,318万円
市 3億4,332万円
その他 11億1,166万円

国民健康保険加入者を対象に保険給付事業、保健事業、国民健康保険税の賦課・徴収事務を行っています

令和5年1月末の被保険者数 (前年の被保険者数、比較)	9,408人 (9,749人、3.5%減少)
令和5年1月末の加入世帯数 (前年の加入世帯数、比較)	6,026世帯 (6,149世帯、2.0%減少)
令和3年度特定健康診査受診率 (令和2年度の受診率) ※法定報告値	45.8% (46.0%)

◆主な保健事業

- ・特定健康診査
- ・特定保健指導
- ・特定歯科健診
- ・特定健診受診者を対象にした料理教室
- ・人間（脳）ドック費用助成事業

◆脳ドックの検査費用を助成（上限あり）

国が推進する健康寿命の延伸及び「健幸都市みずほ」の政策として、人間ドック助成に加え、主要な死因のひとつである脳血管疾患の予防・改善を図ります。

事業

後期高齢者医療事業



担当

市民部
医療保険課

予算

R5 6億8,431万円
R4 6億6,010万円

財源

市 1億4,793万円
その他 5億3,638万円

後期高齢者医療加入者を対象に保険料の賦課・徴収事務、保健事業を行っています

令和5年1月末の被保険者数 (前年の被保険者数、比較)	6,074人 (5,749人、5.7%増加)
令和3年度すこやか健康診査受診率 (令和2年度の受診率) ※法定報告値	42.4% (43.5%)
令和3年度さわやか口腔健康診査受診率 (令和2年度の受診率) ※法定報告値	7.9% (8.3%)

◆主な保健事業

- ・すこやか健康診査
- ・さわやか口腔健康診査
- ・人間（脳）ドック費用助成事業
- ・9020運動

◆9020運動（90歳で自分の歯を20本保とう）の実施

超高齢化社会にあたり「健幸都市みずほ」の政策の下に、市民の健康づくりと健康寿命の延伸に関する啓発事業として対象者を表彰します。

事業 高齢者タクシー利用助成事業



担当 健康福祉部 地域福祉高齢課
 予算 R5 785 万円 R4 428 万円
 財源 市 85 万円 その他 700 万円

令和4年10月から要件を見直しました

高齢者の外出を支援するため、ご夫婦ともに自動車を運転しない75歳以上のかたを対象にタクシーチケットを交付しています。

◆助成内容

- ・タクシーチケットを年間最大24枚交付
- ・1回の乗車で2枚まで利用可能
 (1枚540円分 令和5年10月からは560円分)



事業 平和推進事業



担当 企画部 総合政策課
 予算 R5 505 万円 R4 63 万円
 財源 市 105 万円 その他 400 万円

市民の平和に対する意識を高めるための事業を推進します

市では平成22年11月に市民の安全・安心な暮らしを守り、世界の平和を願い、「非核・平和都市宣言」を行いました。

これまで、平和に関するイベントや企画展などを継続的に実施しているほか、令和4年度には、市内に平和の鐘を設置しました。

市制20周年を機に、3本柱の1つとして「平和」を掲げ、今後も引き続き市民の平和意識の醸成を図ります。

◆令和5年度 実施内容

- ・世界平和・復興支援ひまわりプロジェクト
- ・西小学校への被爆アオギリ二世植樹
- ・みずほ平和の祈り2023(平和ジャズコンサート)
- ・小学生との平和に関する絵画制作プロジェクト



平和の鐘解説サインに描かれたデザイン (市出身画家 大平由香理氏)

基本目標4：～夢あふれ希望に満ちたまち～

事業

中山道まちづくり基本構想推進事業



担当

教育委員会
生涯学習課

予算

R5 1,198 万円
R4 1,175 万円

財源

国市 599 万円
その他 99 万円
500 万円

中山道沿線の主要施設（小簾紅園・中山道大月多目的広場・美江寺宿）を地方創生の拠点として、賑わいを創出します

◆令和5年度 実施内容

中山道まちづくり計画に係る社会実験等支援委託

- ・民間活力導入可能性調査
- ・民間活力導入案及び指定管理者制度導入支援業務
- ・社会実験等



拡

事業

英語教育推進事業 グローバル化対応教育の推進



担当

教育委員会
学校教育課

予算

R5 5,151 万円
R4 5,369 万円

財源

市 5,151 万円

豊かな語学力やコミュニケーション能力を育成します

- ◆小学校低学年から外国語活動を導入
- ◆中学年以上で教科としての外国語教育を開始
- ◆ALT（外国語指導助手）10人の配置
- ◆教師の英語力向上研修の実施
- ◆「ALTイングリッシュ サロン」の充実
- ◆英検 I B A の継続実施（全中学生対象）



全中学生を対象に英検 検定料の助成を始めます

全中学生を対象に、検定料の半額程度を地域振興券にて助成する制度を導入します。

事業 公私連携型保育所整備事業

担当 教育委員会
教育総務課

予算 R5 7,386 万円 財源 その他 7,386 万円

老朽化した牛牧第1保育所を公私連携型保育施設として整備します

施設の老朽化や待機児童解消などのため公私連携型保育施設を整備します。



◆令和5年度 実施内容

- ・事業用地造成工事

事業 中小学校大規模改修事業

担当 教育委員会
教育総務課

予算 R5 1億5,138万円 R4 1億9,088万円 財源 市 138万円
その他 1億5,000万円

学校施設の教育環境の充実を図ります

老朽化している施設を計画的に維持修繕し、良好な教育環境を充実させるため令和4年度に引き続き施設整備を推進します。



事業 生涯学習施設等改修事業

担当 教育委員会
生涯学習課

予算 R5 3億3,428万円 R4 2億5,314万円 財源 市 2億628万円
その他 1億2,800万円

生涯学習施設維持管理計画に基づき施設の改修を実施します

◆令和5年度 改修箇所（主なもの）

- ・ココロかさなるCCNセンター（総合センター）
 - エレベーター更新工事 4,290 万円
 - 整流器盤更新工事 1,276 万円
 - 電灯LED化工事 7,414 万円
 - ホール女子トイレ洋式化工事 1,046 万円
- ・巢南グラウンド
 - 投光器取替修繕工事 797 万円
- ・南ふれあい広場
 - 南東面フェンス設置工事 513 万円



事業 木育推進事業



担当 教育委員会
幼児教育課

予算 R5 396 万円
R4 199 万円

財源 県市 180 万円
216 万円

ふるさと岐阜県、瑞穂市に誇りと愛着を持ち、次の世代につなぐことのできる人材を育成します

県が推進する「ぎふ木育 30 年ビジョン」に沿って、木育体験の場を創設し、ビジョンの第 1 ステップとなる「ふれあう、親しむ」経験を多くの子どもに提供します。

「岐阜県ぎふの木育教材導入支援事業」を活用し、保育所、子育て支援センターにぎふ証明材を使用した木のおもちゃ等を令和 4 年度から導入しています。



▲「木のおいがる！」木の感触を楽しむ様子

◆令和 5 年度 実施内容

- ・放課後児童クラブ
 - ・こどものひろば 等
- 合計 18 施設に木のおもちゃを導入



▲積んだり並べたり、夢中で遊ぶ保育所の子どもたち

事業 保育士等支援アドバイザー事業



担当 教育委員会
幼児教育課

予算 R5 1,310 万円

財源 国市 609 万円
701 万円

子どもたちに、より良い保育を提供し、健やかな育ちへつなげるために…

経験の浅い保育士や放課後児童支援員を、現場の経験豊かな保育士等支援アドバイザーが寄り添い支援することで、「離職防止」と「勤務環境改善推進」に取り組めます。

アドバイザーは保育所や放課後児童クラブを定期的に巡回し、継続的に支援します。

保育士支援アドバイザー 4人
放課後児童クラブアドバイザー 1人



基本目標5：～活気あふれる元気なまち～

拡

事業

JR穂積駅圏域拠点化構想事業

(基本目標2にも共通する事業です)

担当

企画部 総合政策課
都市整備部
穂積駅圏域拠点整備課

予算

R5 1億8,919万円
R4 1億6,575万円

財源

国債 5,601万円
市債 2,760万円
市 710万円
その他 9,848万円



にぎわいを担う「ひと」づくりと便利で快適な「まち」づくりで、圏域15万人の拠点化に取り組みます

圏域のプラットフォーム『みんなの“心”をつ・つ・む場所 ほづみのエキチカ』実現に取り組みます。

ソフト事業では、にぎわいの取り組みの主体をまちづくり組織へとシフトし、さらなるにぎわい施策の充実と情報発信力の強化により、活動の見える化を図ります。

ハード事業では、令和4年度に策定した「瑞穂市JR穂積駅周辺整備基本計画」に基づき、駅周辺の基盤整備の事業化に向けた地権者協議会等の取り組みや都市計画手続を行うとともに、短期的に実現可能な交通機能等の改善に向けた取り組みを進めます。



穂積駅周辺整備実施計画図（素案）イメージパース図

◆令和5年度 実施内容

【ソフト事業】JR穂積駅周辺地域の活性化

- ・駅周辺の活動の担い手であるまちづくり組織の基盤強化と運営の支援
- ・エキサイトサードプレイス（JA跡地）等空きスペースを活用した活性化イベントや社会実験等の企画検討、実施
- ・地域コミュニティ強化による地域課題の改善
- ・圏域企業や教育機関との連携強化による交流の拡大と人材発掘



まちづくり組織によるにぎわい創出（第8回ほづみ夜市）

【ハード事業】JR穂積駅周辺整備事業の推進

- ・都市施設等（駅前広場、幹線道路、土地区画整理事業等）の都市計画決定（案）、事業計画（案）の作成
- ・穂積駅南地区地権者協議会の開催
- ・穂積駅南北地区連絡会の開催
- ・交通機能等の改善に向けた（主）北方多度線別府交差点の改良工事の実施



穂積駅南地区地権者協議会

拡

事業 市制 20 周年記念事業

担当 企画部 総合政策課
総務部 総務課

予算 R5 967 万円
R4 317 万円

財源 県市 41 万円
その他 249 万円
677 万円



市制 20 周年の3つの柱「人権」「平和」「環境」をテーマに、未来に向けた新たなスタートの年とします

記念式典のほか、年間を通じ様々なイベントを開催します。

キッチンカー&マルシェ「MIZUHO ピクニック 2023」を皮切りに、市制施行 20 周年記念式典、夏季巡回ラジオ体操みんなの体操会、10 月には第 2 回瑞穂市清流長良川 100km ウォークを予定しています。



令和 6 年 3 月には記念事業のフィナーレを飾る NHK 公開番組のど自慢大会を開催。市制 20 周年記念事業実行委員会主催「市民モルック大会」のほか、各種団体事業も目白押し。市民の皆さんと一体となって気運を盛り上げ、瑞穂市のさらなる飛躍を目指します。

事業 新庁舎建設事業

担当 総務部
財務情報課

予算 R5 2 億 2,129 万円
R4 2 億 1,221 万円

財源 市 2 億 1,971 万円
その他 158 万円



新庁舎建設基本計画策定に向けた検討作業を進めます

新庁舎建設基本計画の重要項目である建設候補地を決定するため、識見者、公共的団体等推薦者及び公募委員により構成する新庁舎建設検討委員会において、候補地の選考、施設配置計画などの新庁舎建設基本計画策定に向けた作業を進めます。

新庁舎を建設するため、毎年 2 億円基金を積み立てます

令和 14 年の供用を目指して基金を積み立てます。
(令和 5 年度末予定残高 14 億 1,001 万円)



事業

まちづくり基本条例推進事業

(基本目標3にも共通する事業です)



担当

企画部
市民協働安全課

予算

R5 1,197万円
R4 184万円

財源

市 197万円
その他 1,000万円

市民が主体の市民参画による協働のまちづくりを推進します

「まちづくり基本条例」に基づき、市民協働のまちづくりを推進します。

推進するためには、何よりもベースとなる「地域コミュニティ」の充実が大切です。単位自治会や小・中学校区活動を中心とした市民活動への支援を拡充するほか、中間支援組織等の検討を進めます。

また、「アダプト・プログラム事業」の実施により地域への愛着を高め、地域コミュニティの活性化につなげます。

◆令和5年度 主な新規事業

- ・まちづくり地域振興組織事業補助金



「まちづくり基本条例」の目指す
市民参画による協働のまちづくり

★市の執行機関の役割★
常に横断的な連携を図り、自らも市民の一員として、市民と連携し、まちづくりを推進するため、自己研鑽に努める。
地域コミュニティ活動への理解と支援。

★市民の役割★
地域コミュニティの中で、相互に多様な価値観を認め合い、自らの発言と行動に責任を持ち、まちづくりに参画すること

★市議会の役割★
市民の代表として市民参画による協働のまちづくりの実現のために、開かれた議会運営と広く市民の意見を求めることに努める。
地域コミュニティ活動への理解と支援。

地域コミュニティ=まちづくりに参画するための重要なステージ

【地域コミュニティの重要性】
安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現のため、お互いに助け合い、地域の課題を共有し、解決に向けて行動する組織です。
相互に「その人らしさやまちづくりへの思いを認め合える」関係の中で、協力することが大切です。

瑞穂市民一人ひとりがまちづくりの主役
「一人ひとりの人権が尊重され、個性・能力・思いを十分に発揮できる地域」が実現する

令和5年度わかりやすい瑞穂市の市政方針

【発行】 瑞穂市役所 総務部 財務情報課 〒501-0293 瑞穂市別府1288番地
電話：058-327-4131 ホームページ <https://www.city.mizuho.lg.jp>